

## 市内景気動向調査結果

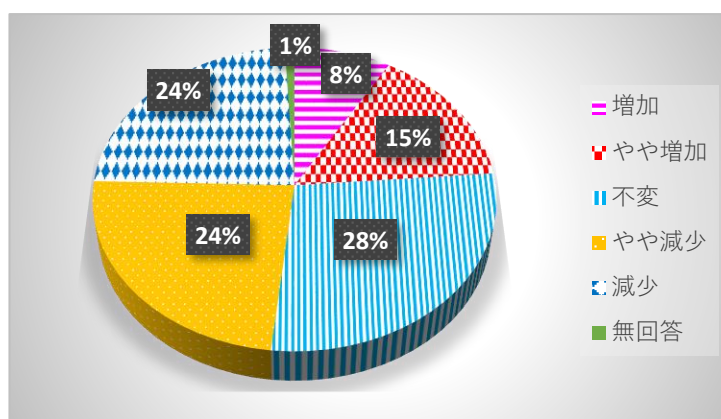
この調査は、第2四半期（本年7月から9月）と前年の同期間（3ヶ月）を比較し当商工会員より回答いただいたものです。

有効回答数	建設業	製造業	運輸業	卸小売業	サービス業	その他
118	38	18	11	17	24	10

※その他は、回答数が少なかった不動産業、金融保険業、飲食業、農業

### 1. 売上高はどう変化したか。

増加	10
やや増加	18
不変	33
やや減少	28
減少	28
無回答	1
合計	118

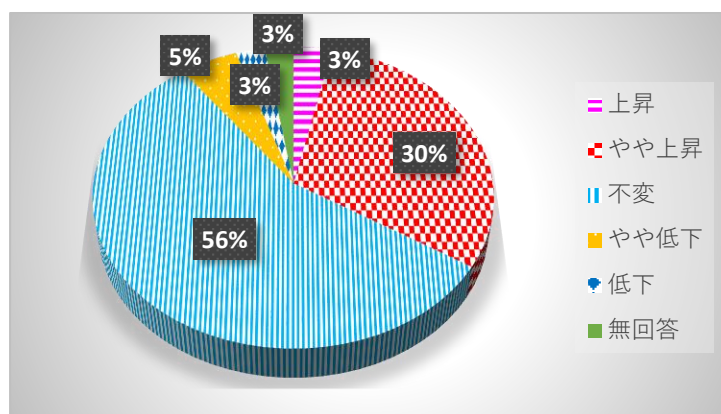


#### 【コメント】

- 増加・やや増加が23.7%、不変が27.9%、やや減少・減少が47.5であった。前期は、増加・やや増加が18.2%、不変が24.1%、やや減少・減少が56.9%であり、一部に改善傾向が見られる。
- 増加・やや増加の業種別割合は、運輸業が36.3%、卸・小売業が29.4%、サービス業が25.0%、建設業が23.6%であった。
- やや減少・減少の業種別割合は、製造業が61.1%、運輸業が54.5%、サービス業が54.2%、卸・小売業が42.1%、建設業が39.4%であった。

### 2. 仕入単価はどう変化したか。

上昇	4
やや上昇	36
不変	66
やや低下	6
低下	3
無回答	3
合計	118

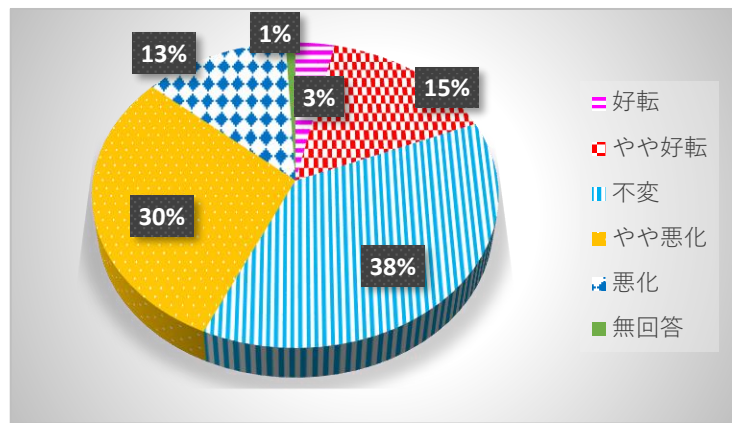


#### 【コメント】

- 上昇・やや上昇が33.9%、不変が55.9%、やや低下・低下が7.6%であった。前期は、上昇・やや上昇が29.2%、不変が58.4%、やや低下・低下が9.4%で仕入単価は平均すると上昇傾向にある。
- 上昇・やや状況の業種別割合は、卸・小売業が52.9%、製造業が38.9%、サービス業が33.3%、建設業が31.6%であった。

### 3. 採算について

好転	4
やや好転	18
不変	45
やや悪化	35
悪化	15
無回答	1
合計	118

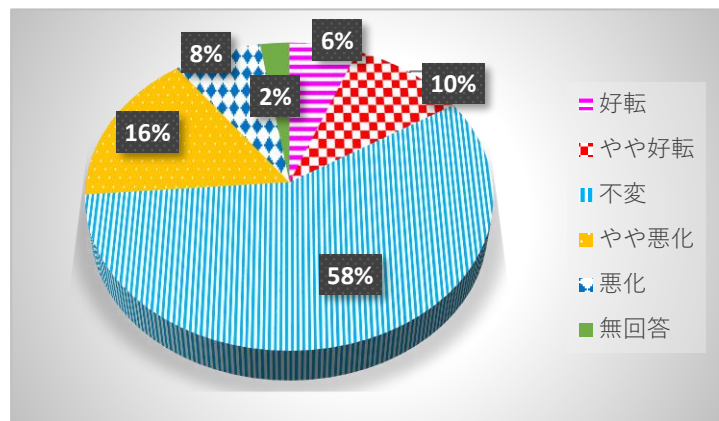


#### 【コメント】

- 好転・やや好転が18.6%、不変が38.1%、やや悪化・悪化が42.4%であった。前期の好転・やや好転が14.6%、不変が36.5%、やや悪化・悪化が46.7%で多少改善傾向が見られる。
- やや悪化・悪化の業種別割合は、製造業が66.7%、サービス業が45.8%、建設業が36.8%、運輸業が36.4%、卸・小売業が35.3%であった。

### 4. 資金繰りについて

好転	7
やや好転	12
不変	68
やや悪化	19
悪化	9
無回答	3
合計	118

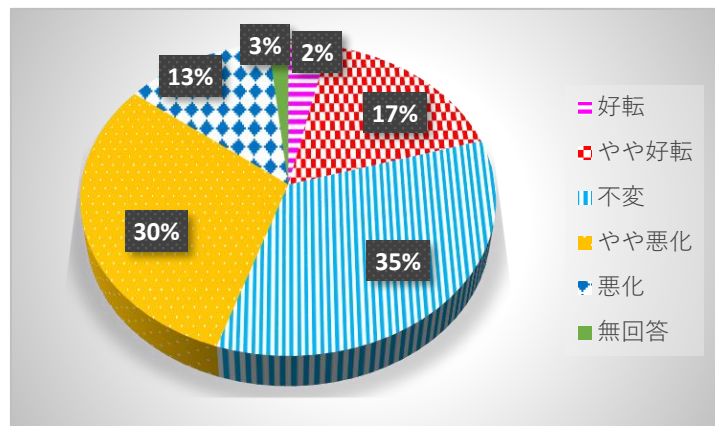


#### 【コメント】

- 好転・やや好転は16.1%、不変が57.6%、やや悪化・悪化が23.7%であった。前期の好転・やや好転が9.5%、不変が59.8%、やや悪化・悪化が29.2%であった。売上高の増加、採算性の好転が資金繰りに好影響を与えている。
- 資金繰り悪化の割合が高い業種では、卸小売業が29.4%、サービス業が29.1%、運輸業が27.2%であった。

### 5. 業況について

好転	4
やや好転	20
不変	41
やや悪化	36
悪化	15
無回答	2
合計	118



#### 【コメント】

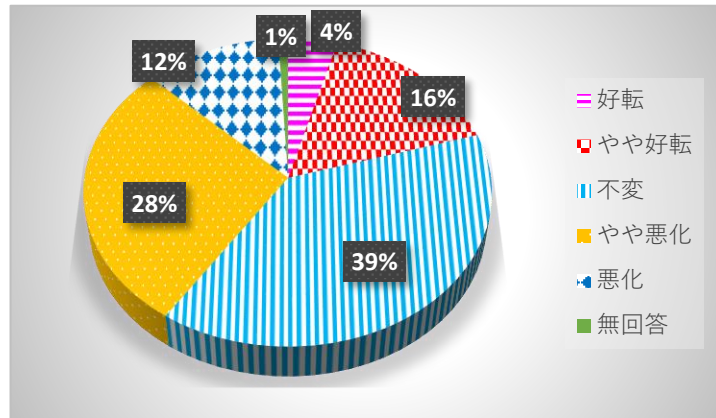
- 好転・やや好転は20.3%、不変が34.7%、やや悪化・悪化が43.2%であった。前期は、好転・やや好転が13.1%、不変が29.9%、やや悪化・悪化が55.4%で

その他の指標とともに一部で改善の傾向が見られる。

- やや悪化・悪化の割合が高い業種は、製造業が50.0%、卸・小売業が47.1%、運輸業が36.4%、建設業が34.2%であった。

## 6. 今後3ヶ月間の業況について

好転	5
やや好転	19
不変	46
やや悪化	33
悪化	14
無回答	1
合計	118



### 【コメント】

- 好転・やや好転が20.3%、不変が39.0%、やや悪化・悪化が39.8%で、前期は好転・やや好転が24.3%、不変が27.7%、やや悪化・悪化が46.7%であった。
- 前期と比較すると、やや悪化・悪化と答えた方は減少しているが、好転・やや好転と答えた方も減少している。新型コロナウイルス感染の収束が見えない中で予見が難しい状況となっている。

## ■ 回答事業所からのコメント

### 【建設業】

- 今年はコロナの影響が多少あり、仕事の影響があります。
- 建設工事の沈滞化により、受注量の減少。先行き不透明感から、受注価格の低下、不採算受注多発。
- 主に店舗の内装の工事をしているので、今年は2月からほとんど受注がなく生活も大変な状態が続いていて今までに無い最悪な毎日です。この先のメドもたたず、これからの生活が心配です。
- まだ影響受けていませんが先行きは暗いです。
- 9月までの売上の様な数字は今後3か月間見込めないため。「現状維持」と思われます。
- 我々建設業界はボールパーク関連工事が多く発注され、例年以上に売上を伸ばしています。しかし、この工事も2022年までと予想しています。
- コロナの影響により工事着工予定が決まらず、今後もわからない状況です。
- 新型コロナウイルス感染防止による建設業の施工が延期されていると考えられます。(公共・民間工事ともに)
- コロナ禍により、終息が見えない事から将来への生活不安が増すことで、リフォーム単位が全体的に低売上に影響を及ぼしています。
- 受注量が増加していい方向に向かっています。
- コロナの影響?!かどうかわからないが個人のお客様は今の状態(コロナ)が良くなってからでも良い(工事に関して)という考えがあるのではないかと思います。急ぎでない限り工事の件数は増える事はないと思われます。
- 石油基地の新築及び改修工事 ガソリンスタンド新築及び改修工事 老朽化地下タンク修繕工事
- 今のところ影響はないのですが、先がどうなるかわかりません。とても不安です。コロナにより来場者減少。10~12月は閑散期により天候要因が大きくなる。
- コロナウイルスの影響で建築物の延期・個人消費者との商談上支障が生じ営業活動ができず売上に影響している。

- 受注高の変化はない。
- 取引先の業況先に変化が見られない
- 一般ユーザーの動向は世情に呼応する状況にて動きは良くありません
- 弊社は箱型事業で融資停滞による物件不足。来年度は兆しあり
- 仕事がなんとか切れずにあったこと。今後の予定も今までと変わらないと思う。
- 従業員の高齢化、人員不足が相変わらず続いています。募集媒体に思い切って多めに広告を掲載しましたが、虚しい結果でした。コロナの影響で退職を余儀なくされた方々は一体どこへ行かれたのか。
- 金額の高い工事を落札できた

### 【製造業】

- コロナウィルスの影響もあり、カフェは休業や営業日減少の為、売り上げ減。直売店は試食がストップになりながらも何とか変わらず営業。去年よりは減。インターネット通販は「お取り寄せ」の機会が増え売り上げは増。百貨店への催事出店は春が中止。夏のイベントも中止。トータルでは大きな変化はせずに、何とか売り上げをキープさせる努力をしています。これからお歳暮のギフトシーズンが始まるので頑張っていければと願うところです。
- コロナ禍による油脂類の値上がり（航空業界の悪化により石油業界への反動）民間も官も今後は冷え込み予想
- 企業、自治体等の団体の行事がコロナ禍の中、中止になり印刷物、消耗品が極端に減少売上減につながっている。
- 得意先の販売ダウン（観光客・外出激減での外食減）
- 新型コロナウイルスの影響
- 従業員の減少やコロナの影響なのか注文が不安定の為、先が読めない。今後は不安です。相変わらず低迷中
- 新型コロナウイルスの影響によるインバウンド、リゾート観光産業、機内食、テーマパーク等の落ち込みが極端すぎるほどに影響を受けています
- 取引先の売上減少に伴い影響あり
- 好転する要素が乏しく、社員の採用を控え、設備投資を最小限に留め、在庫をしっかりコントロール。維持に係る修繕等のコストは必要最低限実施の先送りにして、利益確保優先に取り組むしかない。
- 事業計画がうまくかみ合ったため
- 年間契約の仕事が多く、来年3月までは不変と思われる。来年4月以降、コロナ禍の悪影響が遅れて業績に表れる可能性がある。
- 新型コロナウイルスの間接的な影響により一般のかぜ薬の消費に減少が生じ、業況は忌避しい予想となっている。
- コロナ禍における経済の停滞と働き方の変化によるものと思われる。
- 前年大型物件獲得したため売上はUPした。この分がマイナスとなると同時に、1業者が廃業したため影響大

### 【運輸業】

- GOTOトラベルの効果が表れつつあります。
- 一部の荷主様の物量が減少しており、人件費等は増加傾向のため。
- コロナ禍で感染者が札幌（すすきの関係）や、北広島市で確認される毎、一喜一憂する感があり、高齢者に於いても同様に外出の出足が鈍くなるのだと考えられます。冬にかけ（年末）、少しは好転を望めるかと考えていますが、先行きは不透明と言わざるを得ません。
- 新型コロナウイルスの影響だと思う。

### 【卸小売業】

- 当社は、デパート、スーパーにおいて1週間単位での食品販売をしている、催事業者への食品卸売業です。今は、お客様の皆様がマスクを着けて来店されていますので、試食もされません。販売額は、前年比35%減となっています。
- コロナによる先行不透明感により、顧客の購入マインドが下がっていると考えられる。

- ①新型コロナ関連で市場の変化 ②変化に対応する能力不足 ③変化に対応する資金不足
- 思ったよりもコロナの影響はなかった。
- コロナウィルス対策の影響で折込チラシの受注減が売り上げ悪化の主要因。仕入の上昇は購読料改定の影響。折込チラシの受注が回復してきているので好転の見通し。
- 年末に向けて御歳暮ギフトは売上も例年通り見込んでいますが、忘年会の数は減ることが予想されるため、飲食店様との取引額は減ると予想しています。プレミアム商品券は利用される市民、お店両方にメリットがあるので期待しています。
- 昨年までの営業が今の売上に繋がっている。発生主義的な売上が見込めないの、2年～3年先の営業が欠かせない。
- コロナ禍の中で、今後どのような影響が出てくるのか先が読めない状況ですが、当店では巣ごもり需要としてDIY商品やマスク、除菌商品などの感染予防商品の販売が好調であったため、7月～9月は売上が昨年と比べて「やや増加」となりました。
- 来店数は減少ですが、配達が少し増加していると思います。資金繰りは例年より良いと思います（銀行の借入れにあまり手がついていないからと思います）。11月から今までより少し伸び悩んでします。

#### 【サービス業】

- 新規生の動きが鈍くなったため。
- 業種的に経済変動は6か月～1年後にズレて現れるので今後、年末年始～来年売りに上げに影響すると思っています。
- 新型コロナウィルスにより、思ったように営業活動が出来ず引きあいも少なくなり影響が出ている。
- コロナの影響で冬～春にかけての官庁の動きが見えないため。
- 7月以降の教室に入校いただく生徒の数が増えております。要因分析として、①現在の生徒さんから紹介 ②きたひろカレッジや元気出すフェスティバル、LOVEローカル等、市や商工会のイベントに参加することで認知度アップ。 ③新型コロナの影響による学習の遅れを取り戻す等が考えられますが、正確な要因究明には至っておりません。
- 大型イベントが軒並み減った
- コロナ禍による景気の低下、公共事業発注時期の後退
- コロナ禍による各イベント中止につき、ごみ収集・仮設トイレリースなどが減少している。

#### 【その他】

- 魚、肉、野菜の仕入れ額の上昇。イベント、会合等の中止、縮小による売り上げ減
- コロナウィルスの再拡大の影響で、また経済が悪くなるのではないかと不安感はある。
- 新型コロナウィルスによる取引先からは、資金要請はひと段落しているが最近感染拡大により再度の不安が広がっており、状況を注視している。
- 不動産業界は、土地の上昇と共に好転が見込まれます。また、当社の様な管理業の需要は増えていくと感じています。
- コロナウィルスによる利用者減少
- 年末商戦に向けて対策を行う（DM、チラシ等）宅配等を活用して早めの受注で売上を少しでも上げる。
- コロナ感染拡大による消費の減退
- コロナの影響は少なからずあり、内覧など制限される事項が増え、1つの案件に時間がかかるため、やや悪化へ繋がっています。